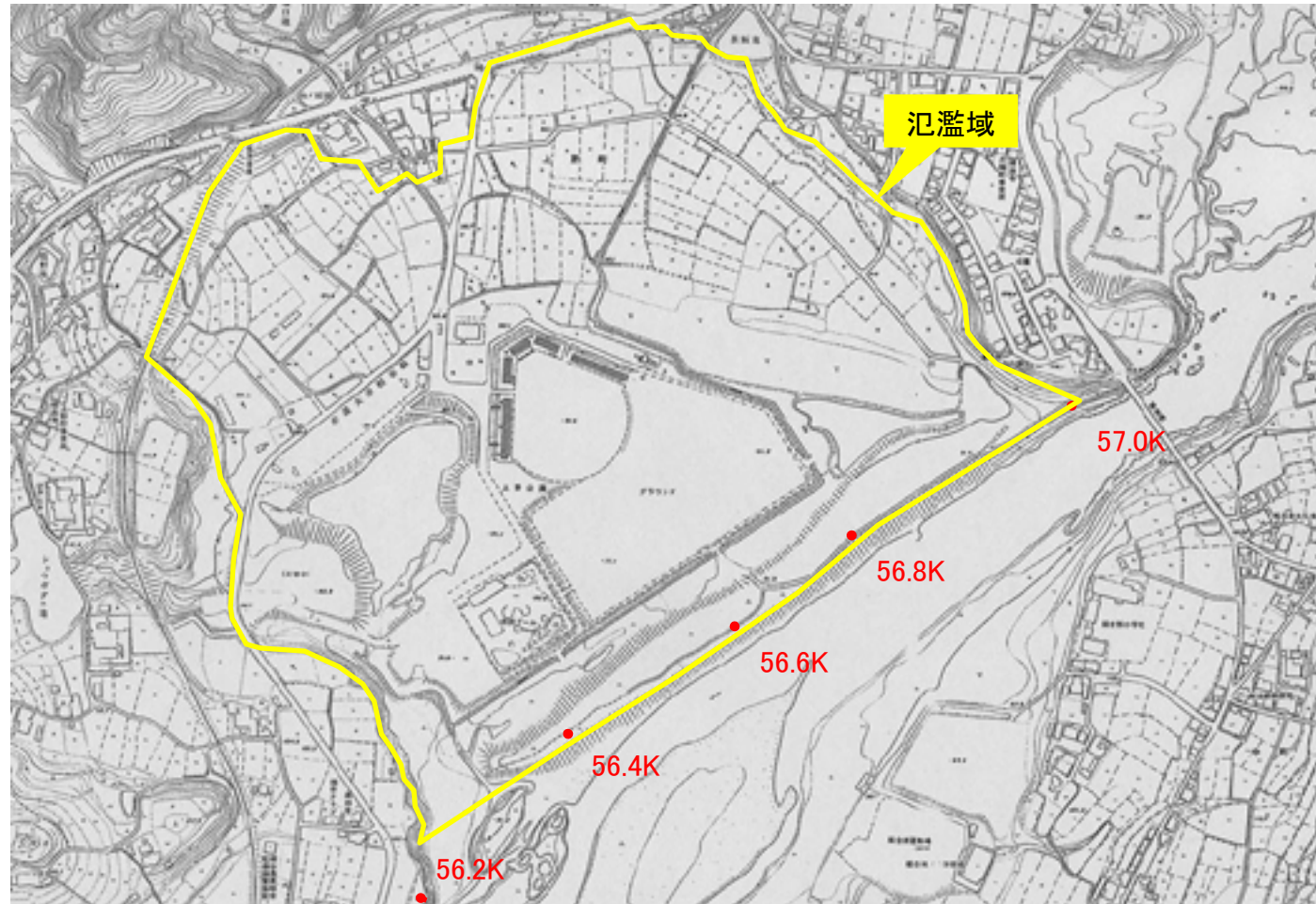


# 当該地の従来の治水対策

→築堤



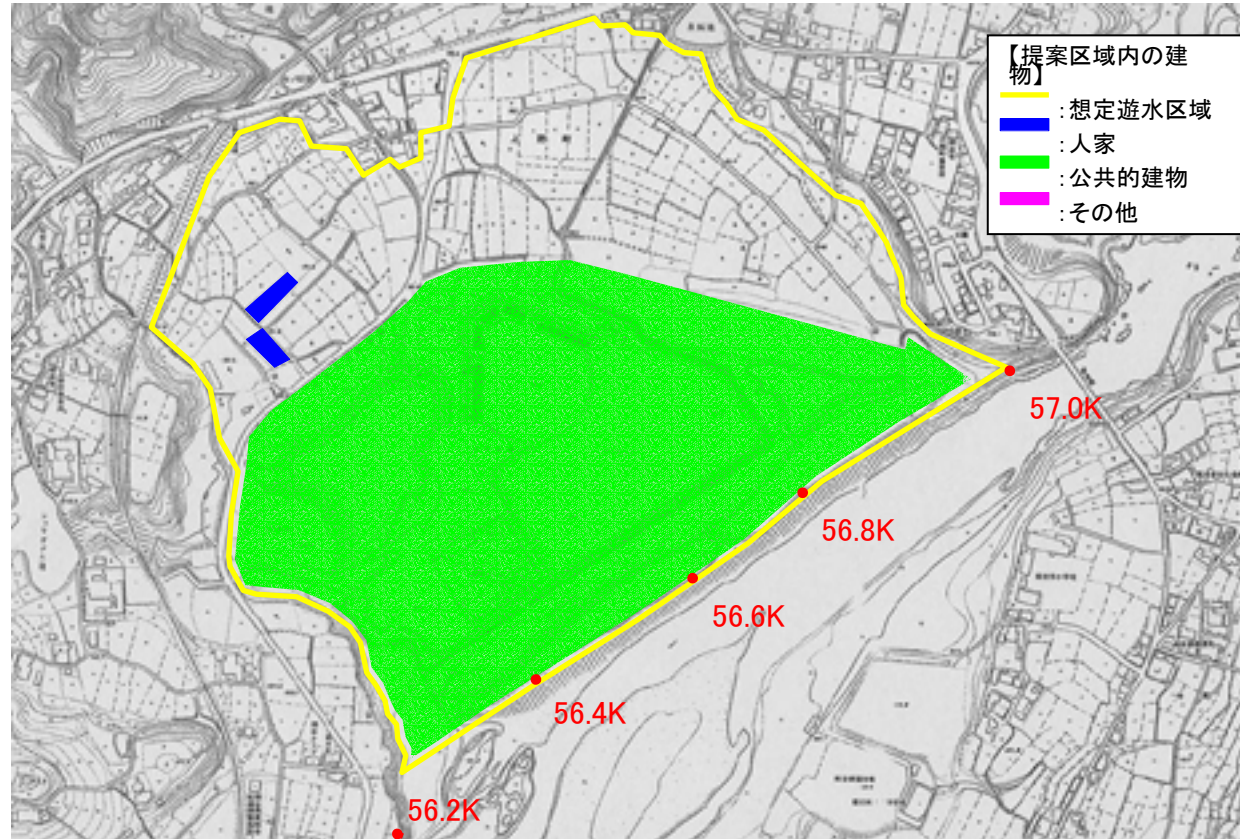
築堤に要する費用 16億円

∥・

当該地の被害軽減に要する費用

# 当該地の安全性を向上しつつ 下流への流出抑制

→宅地嵩上  
地役権補償



## ▼流出抑制効果

単位: m<sup>3</sup>/s

	岩出	藤崎	小田
流下能力不足量	240	1,680	690
S34.9流出量	6,670	6,290	5,920
S34.9遊水地後流出量	6,650	6,280	5,910
流出抑制効果	20	10	10

## ▼事業費

78億円

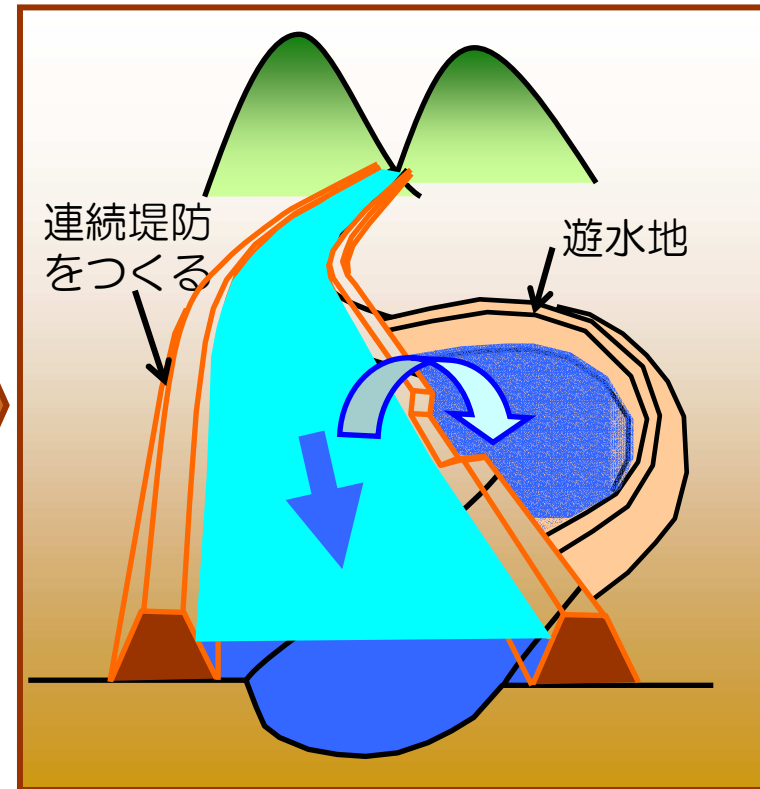
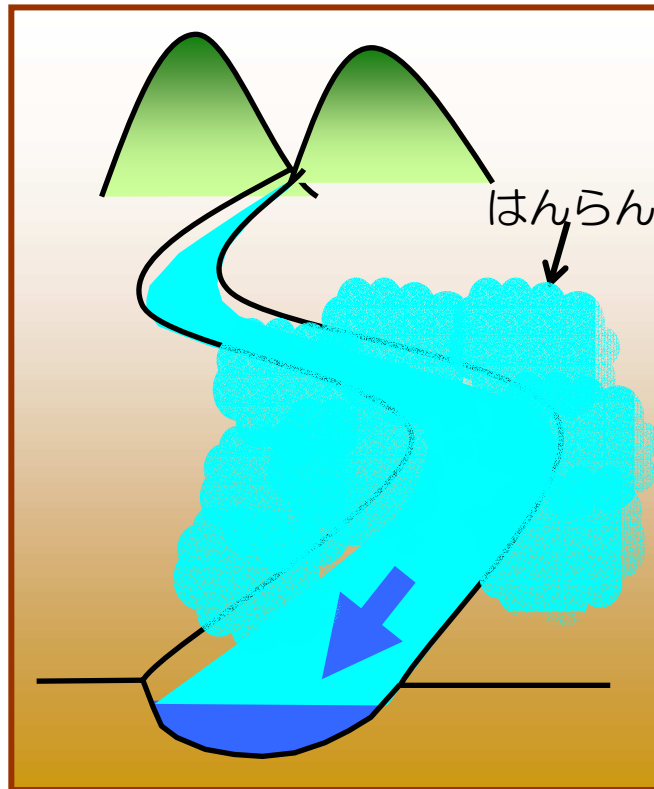
# 越流堤、周囲堤等の 計画遊水地による流出抑制

→地役権補償  
越流堤、周囲堤等

## ▼流出抑制効果

単位: m<sup>3</sup>/s

	岩出	藤崎	小田
流下能力不足量	240	1,680	690
S34.9流出量	6,670	6,290	5,920
S34.9遊水地後流出量	6,600	6,210	5,830
流出抑制効果	70	80	90



# 氾濫を許容した場合の治水対策の比較

A : 当該地の従来の治水対策

B : 当該地の安全性を向上しつつ、下流への流出抑制

【参考】: 越流堤、周囲堤等による計画遊水地による流出抑制

## 【事業費の比較】

A	B
16億円	78億円

## 【下流への流出抑制の比較(岩出地点)】

A	B	【参考】
—	20m <sup>3</sup> /s	70m <sup>3</sup> /s

※S34.9岩出流出量 6,670m<sup>3</sup>/s

# 五條市域の(二見)対策(案)

## 築堤



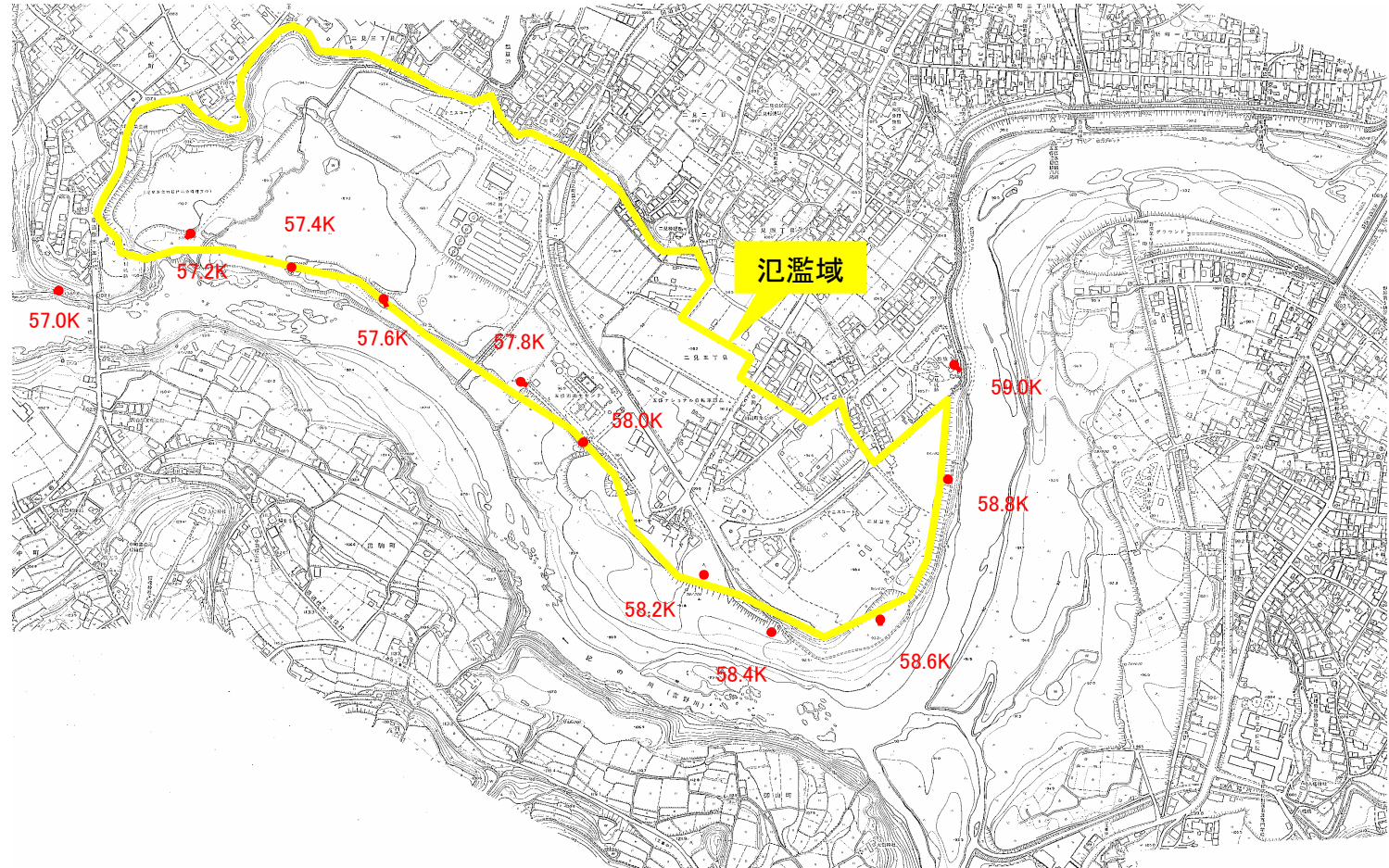
# 五條市域(二見)の対策(案)

## 築堤



# 当該地の従来の治水対策

→築堤



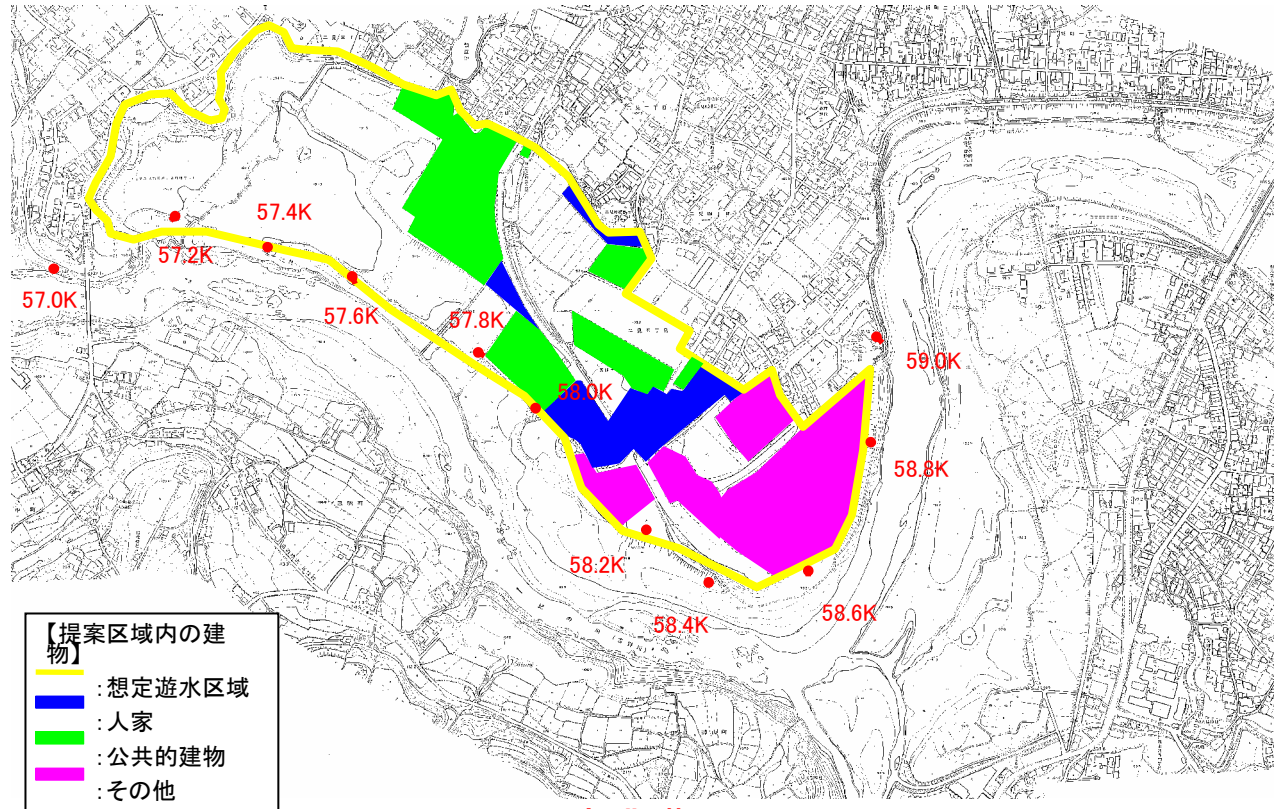
築堤に要する費用 46億円

∥

当該地の被害軽減に要する費用

# 当該地の安全性を向上しつつ 下流への流出抑制

→宅地嵩上  
地役権補償



## ▼流出抑制効果

単位: m<sup>3</sup>/s

	岩出	藤崎	小田
流下能力不足量	240	1,680	690
S34.9流出量	6,670	6,290	5,920
S34.9遊水地後流出量	6,660	6,280	5,910
流出抑制効果	10	10	10

## ▼事業費

140億円



# 越流堤、周囲堤等の 計画遊水地による流出抑制

→地役権補償  
越流堤、周囲堤等

## ▼流出抑制効果

単位: m<sup>3</sup>/s

	岩出	藤崎	小田
流下能力不足量	240	1,680	690
S34.9流出量	6,670	6,290	5,920
S34.9遊水地後流出量	6,610	6,220	5,860
流出抑制効果	60	70	60

